

大野地区社協だより



ぼたん桜

～地域とともに ころろつながる～

令和4年3月 <<第30号>>

発行/大野地区社会福祉協議会

〒879-6441 大野町田中 80-1

TEL 0974 (34) 2071

FAX 0974 (34) 2600



命を守る防災と地域支え合い講話



令和3年12月3日(金)大野公民館ホールで「命を守る防災と地域支え合い講話」を開催しました。防災講話では大分大学防災コーディネーターの板井氏より各地で災害が頻発する中、自分の住んでいる地域のリスクを把握し危険をいち早く察知することが必要とのお話がありました。また地域支え合い講話では、市社協の生活支援コーディネーターの佐藤氏より大野町の5年後、10年後の状況について説明があり今後も過疎高齢化が進む中、これからも住み慣れた地域で安心して暮らすためにはお互いが支え合う仕組みづくりが地域に求められるとし、その取り組みを参加者にお願いしました。



アンケート調査結果

この講話会では参加者に「防災と地域支え合いについて」のアンケート用紙への記入をお願いし、36名の方から回答がありましたのでその主な結果をお知らせします。

まず、「大きな災害があったら一番に頼れる支援」として、住民同士の支え合いが7割を超え、次が行政などの支援でした。隣近所の支え合いが大切であるとした方が多いようです。

「地域に支え合い組織の必要性を感じるか」の質問では、大いに感じるが6割以上で、将来的に必要な4割とあわせ、すべての方が必要という回答であり、関心の深さがうかがえます。

また、「お住いの地域で支え合い組織を作ることは可能か」の質問では、可能が1割、良く説明すれば可能であるが2割、隣近所の小さな支え合いなら可能とした方が5割でした。

地域の将来を考えたとき、支え合いの重要性は認識していても一人では行動に移せません。

「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしたい！」 誰もがそう願っています。

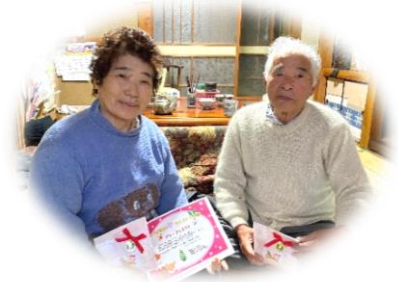
そのためにも・・・まずは **“みんなで話し合う場”** を地域でつくってみてはどうでしょうか。

広報紙「ぼたん桜」は赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

こころの温もりクリスマスプレゼント事業



令和3年12月17日から25日にかけて「こころの温もりクリスマスプレゼント事業」が行われました。この事業は80歳以上でひとり暮らし、又はふたり暮らしの高齢者を対象にクリスマスプレゼント（和菓子の詰め合わせ）を贈るものです。クリスマスを少しでも温かい気持ちで過ごしてもらえるよう民生委員さんのご協力をいただき見守りを兼ねてお配りしていただきました。今はコロナの影響で家に閉じこもりになりがちですが、甘いお菓子と暖かい飲み物で寒い季節をごゆっくりお過ごしください。



新たな年に思いを込めて締め上げます

令和3年12月20日に片島の池上サロンと片島老人クラブの皆さんが合同でお正月のしめ縄づくりを行いました。しめ縄は神の領域と現世を隔てる結界とされているそうです。

「せーのっ！」新たな思いを込め、力強く練り上げたしめ縄は上津神社の本殿と神門、そして地元の池上神社に奉納されました。片島地区も高齢化が進み、大きなしめ縄をつくるのも大変になってきたということですが、こういった伝統と文化は後世に引き継いでもらいたいものですね。みなさん、もうひと踏ん張り頑張ってください！



愛情を
こめて



ボランティアグループ「大野ぼたん桜の会」の皆さんによる「まごころお届け便」が令和3年12月23日に実施されました。例年であれば大野町内の施設を訪問し、高齢者の方々と楽しく交流を行うのですが、コロナ禍にあってはそうした活動ができないため、一昨年より80歳以上の独居の高齢者の方に年賀状を送ったり、町内5か所の施設に出向き会員が手作りで飾り付けをした寄せ書きと鉢植えのシクラメンの花を贈りました。

中々外出もできず、家族との面会も制限される中、少しでも温かい気持ちになってもらえればと、会員のまごころをお届けしました。

これからもお元気で楽しくお過ごしください。

愛と感謝をお届けします♡

～ まごころお届け便 ～



広報紙「ぼたん桜」は赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。